

キャラクター名  
風花 椿姫

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	
オプション		年齢	12	性別	女	
覚醒	償い	衝動	嫌悪	初期侵食率	36	%
出自	安定した家庭	経験	大事故	邂逅	慕情	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	0	0			3	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	3			6	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
紅に染まる氷華 (アイシクル・カミーリア)	RC	7r+5	8	51		80%、浸食値+12、使用毎にHP-5、
紅に染まる氷華 (アイシクル・カミーリア)	RC	8r+5	7	26		100%、浸食値+12、使用毎にHP-5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
黒い日傘	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
究極のゼロ(アプリュート・ゼロ)	P	N		
天ヶ瀬星空	P 慈愛	N 偏愛		
	P 同情	N 不快感		
	P 庇護	N 不安		
	P 感服	N 憐憫		
	P 慈愛	N 悔悟		
	P 信頼	N 劣等感		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセイトレイト	2	3	メジャー	-	-	-	-	
効果:	クリティカル値 [-LV] +ダイス3(Dロイス)							
焦熱の弾丸	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力: +[LV+2]、							
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80%↑	
効果:	攻撃力を+[LV*4]5点のHPを消費							
氷の加護	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	攻撃力を+[LV*2]							
紅の刃	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力: +[LV+1]							
氷の塔	5	3	メジャー	視界	範囲選択	RC	-	
効果:	攻撃力: +[LV*3]。1シーン1回							
氷炎の乱舞	2	4	メジャー	-	-	RC	リミット	
効果:	氷の塔と組み合わせて使用。攻撃力Lv*3。判定ダイス-2							
クロスバースト	3	4	メジャー		-	シンドローム	80%↑	
効果:	攻撃力Lv*4。判定ダイス-2							
ブラッドリーディング	★							
効果:								
温度調節	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ごく普通の家庭に産まれた少女だったが、父親のDVにより精神的、肉体的に追い詰められ能力に覚醒した。能力覚醒時に父親を殺害。母親も意識不明の重体となり現在も意識は戻っておらず、そうした過去の辛い経験から軽度の男性恐怖症を患っている。年齢は12歳と普通なら中学1年生程でありながら高校レベルの授業にもなんなく対応する頭脳を持ち、現在はUGNからの任務のため飛び級で高校に通っている。暑さが苦手なため、外出時は常に黒い日傘を携帯している。人間不信であり、その不安を解消するために初対面の相手には血の提供を求められることがある。半年前から椿姫の家に居候している星空には、同じ天涯孤獨同士という境遇から強い親近感を抱いているとともに、誰にも渡したくないという歪んだ独占欲を向けている。本来相手の思考を読む時以外吸血をする必要はないのだが、星空は人間ではない純粋な存在であるため悪感情が存在せずとも美味しいため、家賃代わりと言って度々血を吸っている。表情の変化に乏しく、感情が読み取りにくい、戦闘時感情が高ぶると激情にまかせて暴れまわる。その際生成する氷が紅く染まることからコードネームが付いた。髪型はロングのハーフアップに黒いリボンをいつも付けている。シナリオ『琥珀色の非日常』を経て、少しだけ男性恐怖症を克服する。